



新年明けましておめでとうございます。

昨年十二月定例会におきまして第四十代大田原市議会議長に就任いたしました高崎和夫でございます。また、日頃より市政発展のため多大なるご支援とご協力をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。

本市議会は、昨年の十一月二十日に任期満了に伴う市議会議員選挙により、第十六期議員として、定員を三名減らし二十六名の議員でスタートいたしました。

今、地方分権の進む中で、地方自治体における三元代表制の一翼を担う議会が、市民の皆様に一層信頼される議会となるよう、市民の視点に立ち、市民の声の代弁者として、開かれた議会づくりを目指し、議会改革に取り組んで参ります。

昨年を振り返りますと、ドイツで開催されましたサッカーレディースワールドカップでは、なでしこジャパンが優勝という快挙を成し遂げ日本中を熱狂させました。

また、五十八年間にわたり人々に愛され続けた地上波アナログ放送が終了し、地上波デジタル放送に移行が行われ、東京スカイツリーとともに新たな歴史を刻み始めました。

三月十一日には、東日本大震災が発生し、世界最大級の

マグニチュード九・〇を記録した大地震と巨大津波により、東北から関東地方の太平洋沿岸地域に甚大な被害をもたらし、さらには東京電力福島第一原子力発電所に致命的な損傷を与え、国内史上最悪の原発事故を引き起こした未曾有の大災害となりました。本市におきましても、本庁舎が被災し、市民の皆様に大変なご不便をおかけいたしてあります。が、新年度早々には仮庁舎が完成する見通しとなりました。

また、原発の爆発事故により、市民生活や市内経済に様々な影響認められ、農産物や畜産物の出荷停止の指示を受けました。さらに、風評被害により、市民生活や市内経済に様々な影響を与え、今なお放射能除染等の課題が顕在化しております。

本市議会といたしましても、市民の皆様がこの災禍に負うことなく、将来にわたり希望が持てる支援策を講ずるため、市議会災害対策本部を設置し、執行部と連携を図り活動を行つてまいりました。今後とも、市民の健康と安全安心な生活環境の確保を図り、新しい地域づくりの一歩を執行部と歩んでいきたいと考えております。

市民の皆様には、尚一層ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年間の皆様のご健康新年頭のご挨拶といたします。